真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月12日

事務事業名	高齢者研修事業		担当課・係	教育委員会　自然教育センター　自然教育センター
政策名　No	2	「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	3	高齢者福祉の充実		

成果指標

名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
研修参加者数	人	1867					
研修に参加し満足した割合	%	99.2					

事業内容

高齢者の健康、教養の意欲向上及び生きがい対策として、市内の高齢者を対象に研修を実施。
市内老人クラブを２０班に分けて、各班年間５回の研修を実施。

研修内容：
児童とのふれあい活動、軽スポーツ、創作活動、調理体験、施設見学、講話、芸能鑑賞、その他

前年度の課題（Check）

○高齢者研修の参加者数がコロナ禍以前と比較し、減少していることから、参加者を増加させる取り組みを検討する必要がある。

7年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業

参加人数　1,867人　実施件数　93件
○入所児童・生徒とのふれあい活動
　調理体験(ピザ、スイートポテト、バウムクーヘン、いももち、スコーン、餃子、チヂミ、まんじゅう、カルメ焼き)
　創作活動(水鉄砲、折り紙、コースター、プラスチック板、うちわ)
　軽スポーツ(グラウンドゴルフ、ディスゲッターナイン、ボッチャ、輪投げ、スマイルボーリング、ラダーゲッター、モルック)

○創作活動		○軽スポーツ	○講話	○調理体験	○施設見学	○芸能鑑賞	○その他
・新聞紙エコバッグ	・折り紙	・グラウンドゴルフ	・交通安全	・スコーン	・鬼怒水辺観察センター	・落語	・音楽鑑賞
・切り絵	・コースター	・モルック	・消費生活	・まんじゅう	・井頭公園（バラ園）	・紙切り絵	・健康体操
・万華鏡	・ペットボトルカバー	・スマイルボーリング	・栄養健康	・鬼まんじゅう	・monaca		・民話語り
・クラフトテープ	・てまり				・久保講堂(ひなまつり)		
・毛糸かご	・ハーバリウム						
・ちぎり絵	・陶器皿絵付け						
・うちわ	・飾り箱						

出張高齢者研修　実施日数　6日　参加者数　62人

【２】結果と課題（Check）

・高齢者研修実施時に使用するバス契約書（仕様書）により、対象が老人クラブ加入者に限定されている。
・施設名(老人研修センター)に使われている、“老人”という表現の変更の検討。
・参加者数の実績について、1,711人（R6）から、1,867人（R7）と増加傾向にあるが、市内老人クラブ会員の数は減少傾向にあり、老人クラブ加入者限定ではなく市内高齢者が参加できるよう検討が必要である。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
・出前講座として高齢者研修実施の検討。
・出張高齢者研修の実施（※７月下旬に実施。従来の高齢者研修及び出前講座としての高齢者研修ＰＲ）

（2）長期的な計画で検討すること
・施設名の変更(※愛称にて検討)
・令和９年度のバス契約書（仕様書）にて、老人クラブ未加入者でもバスを利用できるように高齢福祉課と協議が必要。